



全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ 第18号
発行日：平成27年6月
自治労連教宣部発行

本部 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 北区役所B1 全連協事務所内 (03)3907-5177



【大会の挨拶をする濱村真光中央執行委員長】

5月15日「アトールエメラルド宮古島」(沖縄県宮古島市)において、北海道から沖縄まで、全国の各単組から約100名が参加のもと、「全国自治団体労働組合連合(自治労連)第46回定期大会」が開催されました。

濱村中央執行委員長の挨拶で始まった定期大会は、来賓に公務公共サービス労働組合協議会(公務労協)の加藤達夫副事務局長、政策研究フォーラム(政研フォーラム)の徳田孝蔵専務理事を招き、ご挨拶を頂戴したのち、活発な質疑応答により組織内の理解を深め、すべての議案が満場一致で可決・承認されました。

第46回 自治労連定期大会が 沖縄県宮古島市で開催されました

強い意思と行動で自治労連らしい独自の労働運動を

濱村委員長挨拶

デフレ脱却を目指したアベノミクスは、一昨年から始まった「経済の好循環実現に向けた政労使会議」にて首相自ら財界に対し労働者への給与改善を求めたことや、円高も功を奏し、昨年に引き続き、本年もベア実施の企業が見受けられます。

我々公務員におきまして、8月7日人事院は政府と国会に対して、2014年度の国家公務員の月例給を0.27%引き上げ、一時金を年間0.15ヶ月増とする勧告を行いました。この勧告は2014年春季生活闘争における民間組合の解決状況を踏まえたものであり、7年ぶりの給与・一時金の改善であり評価するものであります。また、本年の春季生活闘争の状況や、先月16日に経団連が発表した第1回集計をみると、本年の人事院勧告の月例給も良い方向に進むのではないかと考えます。

しかし、昨年の人勧では「給与と制度の総合的見直し」についても勧告が行われました。その内容は皆さん御承知のとおり、「俸給表の水準を平均2%引き下げ、地域手当等に再配分することで、地域間の給与に格差をつける」単身赴任手当、広域異動手当、本府省業務調整手当を引き上げる」などであり、これらの見直しについては、見送りを実施した単組もございしますが、同一の俸給表が適用される地方公務員にも影響が及び、本年度から俸給表の引下げが行われています。

一方で、昨年総務省が行ったヒヤリングによりますと、国と異なる勧告を行った人事委員会は、総務省から「圧力ともいえる指導」を受けたと聞き及んでいます。

また、私たちにとって今年度の一番大きな問題は、「人事評価制度」でございます。昨年の地方公務員法等の一部を改正する法律により、来年度から人事評価制度が地方公務員にも適用されることとなり、本年度、各単組におきましては、条例制定に向け交渉等の山場を迎えることとなります。

この人事評価制度につきましては、中央執行委員会等において、制度自体を十分吟味し、各単組に情報提供を行ってまいりましたので、皆様方のお一層のご理解・協力をよろしくお願いたします。

このような情勢である中、公務員労働者を取り巻く環境はますます厳しくなります。特に昨今、労働組合の組織率の低下、組合に対する無関心さが取りざたされております。これから新たな時代を迎える今、もう一度、組合が果たすべき役割や必要性を再認識し、組合員の皆様の期待に応えることのできる活動を展開していかなければなりません。

私たち公務員労働組合は、守るものは守り、変えるものは大胆に変えていく。自治労連の基本理念である「自由にして民主的な労働運動」を念頭に、地域住民の理解も得られる活動を展開しつつも、自らと自らの組織を常に見つめなおし、これから何が生れて何を育てていくのかを私たち自身が反芻し、今後の運動と行動を起こしていかねばなりません。私たちの知恵のみならず、私たちの強い意志と行動で新しいコンセプトを作っていくことがこれからの私たちの労働運動に問われているのだらうと思われまます。

今後、さらに自治労連を発展させていくためには、「友愛と信義」の精神を基軸とし、各単組の組合員の意見を尊重しながら、中央執行委員会での論議をもとに、私たち自治体職員が安心して働ける職場づくりに向け、活動を進めてまいりたいと考えておりますので、どうかこれまで以上のご理解・ご協力と、来賓の皆様方のお力添えをいただきますよう、この場をお借りしてお願申し上げます。



【濱村中央執行委員長】



【長濱政治宮古島市副市長】



【湧川副中央執行委員長】



【飲みっぷりに大喜びの長濱副市長】



【宮古島市職・愛澤直樹さん】



～ 宮古島大会を終えて ～

宮古島は、空と海が青く澄んでいて、私たち自治労連のカラーであるブルーに染まっただけでもきれいな島。そんな宮古島での全国大会は、今後、私たちが向かうべき道をしっかりと再確認させてくれました。

私たち自治労連の大会も、今回で46回を数えます。その間、時代の変化に対応しながらも、基本路線をしっかりと守ってきました。これは、頑張って守ってきたわけではなく、自然体で活動してきた結果です。

私たち自治労連は「地域のために一生懸命働く組合員たちのため」に存在しています。「地域らしさ」「自分らしさ」「日本らしさ」を大切に、地域と共に地域のために活動してまいりました。そのために大切なことは、自治労連が最も大切にしている「住民目線」です。ストライキは住民サービスの低下につながるため行いません。近年の労働組合は、間違った方向に進んでいると思われる組織が自立します。地域が望んでいないデモ行進。職員が望んでいない組合交渉、そしてストライキ。日本人の誇りである国歌や国旗に対する侮辱。同じ労働組合として、とても悲しいことです。

私たちは初心を忘れず、結成以来一貫してきた「自由と民主主義と社会正義」を基本理念とした、自治労連らしい労働運動を展開していくことを、ここ宮古島の澄んだ空や海に誓い、これからも頑張って参りますので、組合員の皆様方どうぞよろしくご支援ご協力をお願いいたします。

来賓の方々からのご挨拶

《公務労協・加藤達夫副事務局長》



物価が上がったが賃金が追いついていないために生活は苦しくなっている。そのため、景気の回復を感じられない。私達は人事院、人事委員会に対して、しっかりと賃上げを求めたい。

また、2013年の中期財政計画の中で、基礎的財政収支を2020年までに黒字化するものになっている。今年の夏頃に、財政再建計画が出てくると思われるが、社会保障費と公務員の給与がターゲットになる可能性がある。これらを踏まえた上で、人勤期の取り組みを強化していかねばならない。

《政研フォーラム・徳田孝蔵専務理事》



公務員のみならず、労働基本権の回復は、長期にわたる課題ではないかと思えます。連合全体を見渡しても、そのことについては、今ひとつ見えてこない。働くもの課題として、連合全体で取り組んでいかなくてはならないのではないかと感じている。

また、通常国会で残業代ゼロ法案を導入するための労働基準法の改正を目指しているようだが、世界的に見れば残業ゼロが常識。そんな中、日本は残業代ゼロが常識となっていない。250億円程度あると聞いている。まずは残業代をきっちり払ってから改正するべきではないかと考える。

また、通常国会で残業代ゼロ法案を導入するための労働基準法の改正を目指しているようだが、世界的に見れば残業ゼロが常識。そんな中、日本は残業代ゼロが常識となっていない。250億円程度あると聞いている。まずは残業代をきっちり払ってから改正するべきではないかと考える。

【2015運動方針案】

【運動の基調】(一部抜粋)

自治労連が結成された第一の目的は、いうまでもなく自治体に共通する課題に対して統一的、効果的に問題解決を図ることであり、また、それぞれの持った産業別組織に結集され、運動を通じて内外に発揮されることに重要な意義があります。今一つの意義は労働運動の民主化を通じて、地方政治のよりよき発展に貢献していかねばなりません。

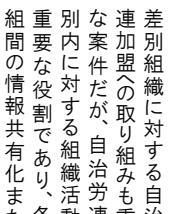
また、雇用を確保し、仕事と生活を両立させ、努力した人が報われる社会の構築、国民の力が最大限に発揮できる経済のしくみを創ること、日本に自信と誇りを取り戻す政策の提示、そして働く者の立場、とりわけ政治の力を必要とする弱い立場の人達と連帯、共感できる各級議会議員が存在しなければなりません。われわれは、自治労連運動の理念や政策を共有できる各級議会議員との連携を一義的とし、自治労連各構成組織の表情に応じた連携に取り組みます。

地域住民の皆様に質の高いサービスを提供するための努力をさらに重ね、民に近い官の考え方を大切にしながら、自治労連らしい「目標を大切に」した労働運動を展開していかねばなりません。そのためには、自治労連組合相互の信頼と絆をさらに強めるなかで、自治労連運動の根幹を成すものを常に見つめなおし、先人が築き上げてきた運動や理念を大切にしながら、時代の変化を見据え、勇気と誇りをもって新たな運動に向けて改革の実践にあたります。



【専門部の経過報告と2015の取組について】

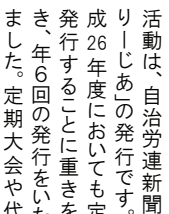
《組織部組織部長・兼武道雄》



組織部の活動として無差別組織に対する自治労連加盟への取り組みも重要な案件だが、自治労連産別内に対する組織活動も重要な役割であり、各単組間の情報共有化また各単組の組織強化を図る活動に力を入れてまいります。自治労連50周年記念の大会レセプションを盛大に執行う為に、本年度中にはプロジェクトチームを編成して記念大会の成功を目指します。

また、雇用を確保し、仕事と生活を両立させ、努力した人が報われる社会の構築、国民の力が最大限に発揮できる経済のしくみを創ること、日本に自信と誇りを取り戻す政策の提示、そして働く者の立場、とりわけ政治の力を必要とする弱い立場の人達と連帯、共感できる各級議会議員が存在しなければなりません。われわれは、自治労連運動の理念や政策を共有できる各級議会議員との連携を一義的とし、自治労連各構成組織の表情に応じた連携に取り組みます。

また、雇用を確保し、仕事と生活を両立させ、努力した人が報われる社会の構築、国民の力が最大限に発揮できる経済のしくみを創ること、日本に自信と誇りを取り戻す政策の提示、そして働く者の立場、とりわけ政治の力を必要とする弱い立場の人達と連帯、共感できる各級議会議員が存在しなければなりません。われわれは、自治労連運動の理念や政策を共有できる各級議会議員との連携を一義的とし、自治労連各構成組織の表情に応じた連携に取り組みます。

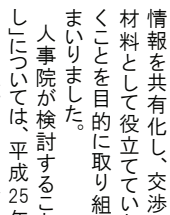


また、雇用を確保し、仕事と生活を両立させ、努力した人が報われる社会の構築、国民の力が最大限に発揮できる経済のしくみを創ること、日本に自信と誇りを取り戻す政策の提示、そして働く者の立場、とりわけ政治の力を必要とする弱い立場の人達と連帯、共感できる各級議会議員が存在しなければなりません。われわれは、自治労連運動の理念や政策を共有できる各級議会議員との連携を一義的とし、自治労連各構成組織の表情に応じた連携に取り組みます。

また、雇用を確保し、仕事と生活を両立させ、努力した人が報われる社会の構築、国民の力が最大限に発揮できる経済のしくみを創ること、日本に自信と誇りを取り戻す政策の提示、そして働く者の立場、とりわけ政治の力を必要とする弱い立場の人達と連帯、共感できる各級議会議員が存在しなければなりません。われわれは、自治労連運動の理念や政策を共有できる各級議会議員との連携を一義的とし、自治労連各構成組織の表情に応じた連携に取り組みます。

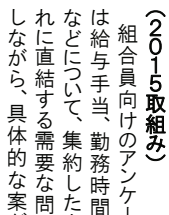
《業務対策部(業務対策部長・山田充哉)》

(経過報告)



業務対策部では、各構成組織が直面している問題について、情報を取りまとめ、情報を共有化し、交渉等の材料として役立てていただくことを目的に取り組みを進めてまいりました。

また、雇用を確保し、仕事と生活を両立させ、努力した人が報われる社会の構築、国民の力が最大限に発揮できる経済のしくみを創ること、日本に自信と誇りを取り戻す政策の提示、そして働く者の立場、とりわけ政治の力を必要とする弱い立場の人達と連帯、共感できる各級議会議員が存在しなければなりません。われわれは、自治労連運動の理念や政策を共有できる各級議会議員との連携を一義的とし、自治労連各構成組織の表情に応じた連携に取り組みます。



また、雇用を確保し、仕事と生活を両立させ、努力した人が報われる社会の構築、国民の力が最大限に発揮できる経済のしくみを創ること、日本に自信と誇りを取り戻す政策の提示、そして働く者の立場、とりわけ政治の力を必要とする弱い立場の人達と連帯、共感できる各級議会議員が存在しなければなりません。われわれは、自治労連運動の理念や政策を共有できる各級議会議員との連携を一義的とし、自治労連各構成組織の表情に応じた連携に取り組みます。

また、雇用を確保し、仕事と生活を両立させ、努力した人が報われる社会の構築、国民の力が最大限に発揮できる経済のしくみを創ること、日本に自信と誇りを取り戻す政策の提示、そして働く者の立場、とりわけ政治の力を必要とする弱い立場の人達と連帯、共感できる各級議会議員が存在しなければなりません。われわれは、自治労連運動の理念や政策を共有できる各級議会議員との連携を一義的とし、自治労連各構成組織の表情に応じた連携に取り組みます。

再結成、現在に至るまでの統合・分裂を学んだ後、常設展「日本労働運動の100年余」、企画展「同盟結成から50年、その今日的意義を探る」を見学し、これからのユース世代に伝えていくべきことなどを話し合いました。

10月には、ユース世代単組間交流会を宮崎県西都市にて開催しました。国指定特別史跡である西都原古墳群を散策しながら、代表的な古墳の説明を受けた後、古代生活体験館において古代の装束(勾玉まがたま)の製作体験を行い、記念に持ち帰っていただきました。懇親会では、西都原にこだわった料理とお酒で大いに盛り上がり交流を深めることができました。

翌年2月には、第10回ユース部全国代表者会議を山口県下関市にて開催し、人事院勧告の制度や内容について学び、その後はユース世代の目線から考える効果的なオルグについて、グループに分かれて話し合い、発表しました。

6月6日、東京都北区において、第2回中央執行委員会が開催されました。執行部として新たなスタートを切るにあたり、前日に電力総連様の「協力による国会見学」を行い、みんなで全国組織の執行部としての士気を高めました。

Table with 4 columns: 役職名, 氏名, 出身, 単組名. Lists members of the 2015-2016 staff body including Executive Director, Deputy Director, Secretary, and various committee members.

